

## 【重要なお知らせ】

### 人文学研究科博士前期課程日本学専攻応用日本学コース（実践トラック）の試験方法の変更について（予告）

令和 8（2026）年度入試（令和 7（2025）年夏期及び令和 8（2026）年冬期に実施予定）より、下記のとおり試験方法を変更する予定です。

#### ■出願区分について

令和 7 年度入学試験まで	令和 8 年度入学試験から
一般 社会人 外国人留学生	出願区分による選考方法の区別を廃止し、全志願者同じ提出書類、方法による選考を実施します。

#### ■入学者選抜方法

令和 7 年度入学試験まで	令和 8 年度入学試験から
学力検査の成績、口述試験、入学試験論文、成績証明書及びその他の提出書類等の審査の結果を総合して行います。  学力検査 ・ 専門科目 ・ 言語（一般のみ）  口述試験	学力検査「専門科目」及び「言語」を廃止し、提出書類による 1 次審査と口述試験による 2 次審査の二段階選抜とします（全志願者共通）。  【1 次審査】 英語外部検定試験成績票（*1）、入学試験論文、成績証明書、研究計画書等の提出書類により選考します。  【2 次審査】 1 次審査の合格者に対して日本語で口述試験を行います。入学試験論文及び研究計画についてのプレゼンテーション後、その内容に関する質疑応答、及び研究分野の専門知識に関する質疑応答などを行います（*2）。

\*1 IELTS(academic module)、TOEFL-iBT Test、英検 CSE（S-CBT も可）、のうち、いずれか 1 つの成績票のみを提出してください。出願期間の初日から遡り 2 年以内に取得したものに限りです。

英語外部検定試験のスコアを人文学研究科日本学専攻応用日本学コースが定める換算式に基づいて得点換算します。換算式は公表しません。

\*2 口述試験では、以下の項目について評価します。

- 1) 「応用日本語学」、「日本語教育学」、「比較日本学」の三つの分野のうち、志願者が応用日本学コースで取り組みたい分野の研究に関する専門的な基礎知識や方法論的知識等の理解度、および研究に必要なデータや文献などの資料を収集・分析する能力
- 2) 自らの主張を説得的に伝達し、審査員の質疑に的確に応答できる能力

## 【重要なお知らせ】

### 人文学研究科博士後期課程日本学専攻応用日本学コース（4月入学）の試験方法の変更について（予告）

令和8（2026）年度入試（令和8（2026）年冬期に実施予定）より、下記のとおり試験方法を変更する予定です。

#### ■入学者選抜方法

令和7年度入学試験まで	令和8年度入学試験から
学力検査の成績、口述試験、修士論文又はこれに代わる論文、研究計画書及び成績証明書等の審査の結果を総合して行います。	学力検査「言語」を廃止し、提出書類による1次審査と口述試験による2次審査の二段階選抜とします。
学力検査 ・言語 ・口述試験	<b>【1次審査】</b> 英語外部検定試験成績票（*1）、入学試験論文（修士論文又はこれに代わる論文）、成績証明書、研究計画書等の提出書類により選考します。  <b>【2次審査】</b> 1次審査の合格者に対して日本語で口述試験を行います。入学試験論文及び研究計画についてのプレゼンテーション後、その内容に関する質疑応答、及び研究分野の専門知識に関する質疑応答などを行います（*2）。

\*1 IELTS(academic module)、TOEFL-iBT Test、英検 CSE (S-CBT も可)、のうち、いずれか1つの成績票のみを提出してください。出願期間の初日から遡り2年以内に取得したものに限りです。

英語外部検定試験のスコアを人文学研究科日本学専攻応用日本学コースが定める換算式に基づいて得点換算します。換算式は公表しません。

\*2 口述試験は、以下の項目について評価します。

- 1) 「応用日本語学」、「日本語教育学」、「比較日本学」の三つの分野のうち、志願者が応用日本学コースで取り組みたい分野に関する研究歴
- 2) 日本語及び日本文化を世界の諸言語・文化・社会の中で相対的にとらえる比較対照的視座に立ち、自身の専門分野の研究に必要な高度な専門的知識や方法論的知識を踏まえて自ら研究課題を設定し、計画に沿って自律的に研究を進める能力
- 3) 自身の研究に関する質疑に的確に回答できる能力、及び専門外の人にも理解できるように自身の主張を説得的に伝達する能力